



〒104-0044
 東京都中央区明石町10-1
 聖路加国際大学礼拝堂
 TEL 5550-2416 (日曜)
 TEL 5550-7043 (平日)
 FAX 5550-7070
 E-mail: chapel@luke.ac.jp
 URL: <http://nssk.org/tokyo/church/luke>



6階小児病棟へのチャペルからのクリスマスカード

聖書を読む会

リモート (Zoom) で行っています。

第1・第3木曜日 午前10時 新約聖書 (上田司祭)

※1月まで休会です。

第2・第4火曜日 午後5時30分 旧約聖書 (関司祭)

ご関心のある方は、チャペルにお問い合わせください。

巻頭メッセージ

降臨節からクリスマスへ

礼拝案内

月・火・木・金曜日

■午前8時30分 朝の礼拝 トイスラーホール

水曜日

■午前8時30分 聖餐式 トイスラーホール

※第2水曜の礼拝は午前8時45分～

日曜日

感染予防のため休止になる場合があります。

■午前7時 聖餐式 トイスラーホール

■午前10時30分 聖餐式・説教 旧館チャペル

■午後5時 夕の礼拝 トイスラーホール

チャプレンメッセージ

降臨節からクリスマスへ

「気をつけて、目を覚ましていなさい」(マルコ三：二三)

司祭 バルナバ 関 正勝

ヨハネ福音書はクリスマスのメッセージを「言(ことば)の内に成ったものは、命であった。この命は人の光であった。光は闇の中で輝いている。闇は光に勝たなかった」(ヨハネ一：三以下)と告げています。「言は肉となつて、私たちの間に宿つた」(ヨハネ一：一四)クリスマスのメッセージは毎年このように希望と喜びに充ちた言葉で語られます。繰り返し語られるこのメッセージにも関わらず世界各地の激しい戦いによって世界の闇は一層深い闇となつています。多くのいのちが、特に幼いのちが無惨に奪われている現実を前にして「闇は光に勝たなかった」とのクリスマスのメッセージは空虚に響きかねない。幾たびこのメッセージが語られたことでありましょうか。しかし、依然として世界は争い、苦しみの闇に支配されているかの如くです。神の無力と不在がささやかれさえします。そして私たちの責任が問い掛けられています。この世界の悲惨な現実の只中で幼子イエスの誕生の知らせ。「目を覚ませ！」と。

葉が出てくると、夏が近いことが分る」(マルコ一三：二八)闇が世界を覆う現実には、私たちをいとも簡単に希望を失なわせて絶望の淵に立たせます。「闇は光に勝たなかった」との幼子イエスの誕生に込められているクリスマス由来事は「やわらかい枝」の芽吹きに春の温もりを見て取る、信仰を「目覚めさせ」ます。その信仰は、私たちの世界に、また日常に起こっている気づかれず、素通りして見過ごされることの多いごく小さな出来事の内面に込められた神の働きに「目を覚まし」受け留める覚醒に他ならないでしょう。神の働きをこのように信じ、受け止める姿勢は世の傍観的批判者からは楽観主義者との誹りを受けかねません。しかし、私はこのような信仰、すなわち闇に直面してなおそれに打ちのめされないで光を信じて進む姿勢を「ラディカル(徹底した)な楽観主義」である、と受けとめたいのです。そして戦う者に武器を置き、殺すなど叫びます。

「闇は光に勝たなかった」とは、希望を奪われてなおそれに抗う希望に生きる強靱(ラディカル)な信仰のことでありましょう。クリスマスおめでとうございます。